

1 安全にお使いいただくために

お願い

- 扉の開閉にあたっては、必ず把手を持って操作してください。
把手から手を離したり、扉の先端に手を置くと、扉が急に閉まったとき扉と枠の間に手をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。
特に子様にはご注意ください。
- 飾り格子をもってドアを開閉したり、飾り格子に無理な重さをかけないでください。
飾り格子がはずれると、事故やけがにつながります。
- 商品や部品に不具合があるときは、販売店・工務店・建築会社にご連絡ください。
ねじや部品がはずれたり損傷した状態で使用を続けると事故（人損、物損）につながります。
- 扉の開閉時に、扉の下端部に足があたらないようにしてください。
足をはさんでけがをするおそれがあります。特に子様やサンダル履きでの開閉時にはご注意ください。
- 風の強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。
ドアが急激に開閉すると、けがにつながります。
- 就寝時は、ドアチェーンとともに錠をかけてください。
ドアチェーンは来訪者確認用であり、錠のかわりにはなりません。
- 扉の開閉にあたっては、丁番側のすき間に手を置かないでください。
はさんでけがのおそれがあります。特に子様にはご注意ください。

■お手入れ用ワックス取扱上の注意

- 長時間フタを開けたままにしないでください。
- 眼に入った場合は、直ちに水、ホウ酸水等で洗眼し、医師の診察を受けてください。
- 使用済みのお手入れ用ワックス、布類、歯ブラシを廃棄する場合は、念のため、
それらを水に浸して濡れたまま廃棄してください。
- お手入れ用ワックスがガラスについていた場合は、ティッシュで乾ふきしていただくと
きれいにふき取ることができます。

2 お手入れ用ワックス塗布のお願い

本商品は天然のチーク材を使用しています。末永く美しい風合いをお楽しみいただくために、定期的にお手入れ用ワックスの塗布が必要になります。

〈お手入れ用ワックス塗布の目安について〉

3ヶ月に一回を目安に

塗布期間の目安については、設置環境や取付け状況により大きく異なります。

木の表面にツヤがなくなってきた場合は、塗布期間の目安に関わらず、ワックス塗布されることをお奨めします。

3 お手入れ用ワックス塗布前の確認

- 晴天の日に行ってください。(風が強い日や、湿度の高い日は避けてください。)
- ドア表面の湿り気確認
降雨の後など、ドアの表面が湿っている状態の時は、お手入れ用ワックスを塗布しないでください。
ワックスが木に浸透しにくいだけでなく、色ムラなどの原因になります。
湿っている場合は、数日おき、十分乾燥させた後にお手入れ用ワックスを塗布してください。
- 既にドアと枠の表面に他の浸透性オイル保護材が塗装してある場合
他の浸透性オイル保護材を完全に乾燥させる必要がありますので、目安として1週間以上の乾燥期間を設けてください。完全に乾燥した後、お手入れ手順に従い、お手入れ用ワックスを塗布してください。
この場合、次回のお手入れは早目に行ってください。
※設置環境や取付け状況により、お手入れの目安は大きく異なります。
- ご用意していただくもの
 - ・養 生 材…………新聞紙、ビニール、ブルーシート等をご用意ください。
 - ・脚 立…………作業をされる方の身長にあったものをお選びください。
 - ・歯 ブ ラ シ…………歯ブラシをご用意ください。
 - ・ウエス(ぼろ布)…………よく乾燥したものをご用意ください。
 - ・お手入れ用ワックス…120g (お手入れ約1回分)

4 お手入れ用ワックスの塗布手順

雨の降っている時や降る事が予想される場合は、作業をしないでください。

1.養生を施す

玄関ポーチや外壁などに、お手入れ用ワックスがつかないように新聞紙などで覆ってください。

2.汚れを取り除く

乾いたウエス(ぼろ布)でドアと枠の表面の汚れを取り除いてください。

※どうしても補修が必要な場合は、この段階で行ってください。

3.ワックスを塗る

※仕上がり状態を事前に確認される場合は、目立たない箇所で試し塗りをしてください。

お手入れ用ワックスをウエス(ぼろ布)に適量取り、ドアと枠の木目に沿って、厚塗りやムラにならないように注意しながらまんべんなく塗ってください。

※細部や凹凸部分は歯ブラシに少量のお手入れ用ワックスをつけ、塗り込むとムラなくできます。

4.余分なワックスを拭き取る

余分なワックスは乾いたウエス(ぼろ布)でよく拭き取ってください。

※お手入れ用ワックスがガラスについた場合は、ティッシュで乾ぶきしていただくときれいにふき取ることができます。

5.乾燥させる

ワックス塗布後は、約1日放置し、完全に乾燥させてください。

乾燥中は、汚れや濡れないよう気をつけて、万が一雨などに濡れる可能性がある場合は、塗布した部分が濡れないようにしてください。

6.仕上げのお手入れをする

約1日放置した後、ドア表面にワックスの残りなどでベトつくような場合がありますので、乾いたウエス(ぼろ布)でふき取ってください。

※お手入れ用ワックスがドア表面に強固な酸化保護膜を形成するまでには約1ヶ月かかります。

安定するまでの間は、特に、汚れや濡れを放置しないようご注意ください。

■お手入れ用ワックス保管上の注意

- 食品ではありません。お子様のいるご家庭では、手の届かない場所へ保管してください。誤って食べた場合は、無理に吐かせたりせずに医師などにご相談ください。
- 開封後は半年程度で使い切ってください。
- 他のオイルや塗料と絶対に混ぜないでください。
- お手入れ用ワックスは、フタを密栓し、火の気のない冷暗所に保管してください。合成保存料や安定剤を一切含まない植物成分100%の無添加製品なので、夏場は冷暗所で保管することをお奨めします。

■ドア表面のキズ・汚れの補修

小さいキズや多少の汚れは、表面をサンドペーパーで削ることで目立たなくすることができます。

サンドペーパーをかけすぎると、表面材が削れ、下地材が見え、意匠性を損ないます。削りすぎには十分ご注意ください。

また、深いキズや染みついた汚れは、サンドペーパーで削っても落ちない場合があります。その場合は、販売店や工務店などへ問い合わせてください。

【補修方法】

- ① #240番程度のサンドペーパーでキズ・汚れを目立たなくなるまで削ってください。
※力を入れないように注意し、少しずつ木の表面の様子を見ながら行ってください。
 - ②表面についた削り粉(木粉)をきれいにふき取ってください。
※サンドペーパーをかけた後は必ずワックスを塗布してください。
- ※サンドペーパーは本品には付属していません。ホームセンターなどでお求めください。